

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	BAMBOOHAT & KIDS深谷上野台教室		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25世帯	(回答者数) 25世帯
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境を活かした体験的な支援ができています	<ul style="list-style-type: none"> ・広い園庭を活かし、日常的に体を動かす活動や外遊びを取り入れています。 ・自転車の練習や集団での運動遊びなどを通して、体づくりやルール理解につなげています。 ・長期休暇や行事の際には、買い物体験や調理体験、地域行事への参加など、社会体験を意識した活動を計画・実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭での活動内容についても目的やねらいを明確にし、お子様一人ひとりの発達段階に応じた関わりを行っています。 ・今後も、社会体験の機会を意識的に取り入れ、実生活につながる経験を積み重ねられるよう支援内容の充実を図っていきます。
2	保護者様から高い評価をいただいている支援が提供できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳、必要に応じた電話連絡を通じて、その日の様子や成長の変化を丁寧に共有しています。 ・保護者様からのご相談やご要望を職員間で共有し、支援内容に反映できる体制を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者様との対話を大切に、安心してご相談いただける関係づくりを行っています。 ・日々のやり取りやアンケート結果を活かし、支援の質の向上につなげていきます。
3	事業所全体で学びを共有し、支援の質を高めている点	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修や委員会活動を通じて、支援に必要な知識や技術の習得・共有を行っています。 ・日々のミーティングや振り返りの中で、支援方法や関わり方について職員間で意見交換を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も外部研修への参加機会を確保し、専門性や支援技術の向上を継続していきます。 ・外部研修で得た知識を事業所内で共有し、実際の支援に活かせるよう体制づくりを進めていきます。 ・内部研修と外部研修を組み合わせ、事業所全体の支援力向上につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士・家族同士の交流の機会が十分に設けられていない点	これまで企画してきたイベント等の開催方法や内容が、保護者様にとって参加しやすい形になっていなかった可能性があり、事業所側の企画や周知方法の工夫が十分ではなかったと考えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすい時間帯や形式(短時間開催、行事と併せた実施等)を検討し、無理なく参加できる企画づくりを行っています。 ・交流を目的とした場だけでなく、テーマを設けた情報共有の機会など、参加のきっかけを作る工夫をしています。 ・保護者様のご意見を踏まえながら、継続的に内容の見直しを行っています。
2	活動内容やイベント等の取組が十分に周知できていない点	講演会や座談会、バザーへの参加、地域の学童との交流など、さまざまな取組を実施しているものの、その内容や目的、実施状況について十分に伝えきれていませんでした。結果として、「どのような活動が行われているのかわかりにくい」「訓練や支援が実施されているか見えにくい」と受け取られてしまっている点は、事業所側の情報発信の工夫不足であると認識しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や行事については、実施の有無だけでなく、ねらいや支援内容が分かる形で発信するよう見直ししていきます。 ・写真や具体的なエピソードを交えながら、保護者様が活動の様子をイメージしやすい情報提供を心掛けていきます。 ・定期的な情報整理と発信を行い、「何を行っている事業所なのか」が分かりやすく伝わるよう改善していきます。
3	支援の質をさらに高めていくための取組が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様一人ひとりに合わせた支援を行う中で、職員それぞれの経験や専門性を活かした関わりができて一方、支援の視点や関わり方について、事業所全体での共通理解を、より深めていく必要があると考えています。 ・外部研修等で得た知識や支援技術について、全職員に十分に共有しきれていない点があると認識しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を軸に、定期的なミーティングや振り返りの機会を設け、支援のねらいや関わり方について職員間で確認・共有を行っています。 ・外部研修や内部研修で得た学びを、OJTを通して日々の支援に落とし込み、職員全体の支援の質の向上につなげていきます。